

IPCFプロジェクトから 対照中間言語分析へ

フランス語, ポルトガル語, 日本語, トルコ語の対照中間言語分析
国際ワークショップ「言語コーパスと学習者言語をめぐって」

2018年11月5日（於東京外国語大学）

鈴木拓真（東京外国語大学博士前期課程）

中川亮（東京大学大学院修士課程）

川口裕司（東京外国語大学）



現代フランス語の中間言語音韻論 (IPCF)

- IPCF

現代フランス語の中間言語音韻論(Interphonology of Contemporary French)

- Interphonology : interlanguage + phonology

- 中間言語音韻論:

学習者が第二言語を習得する際の様々な過程・段階における，音声的・音韻的特徴を理論的に研究する分野 (近藤・川口 2009:53を要約)

IPCFプロジェクトの概要

2008年

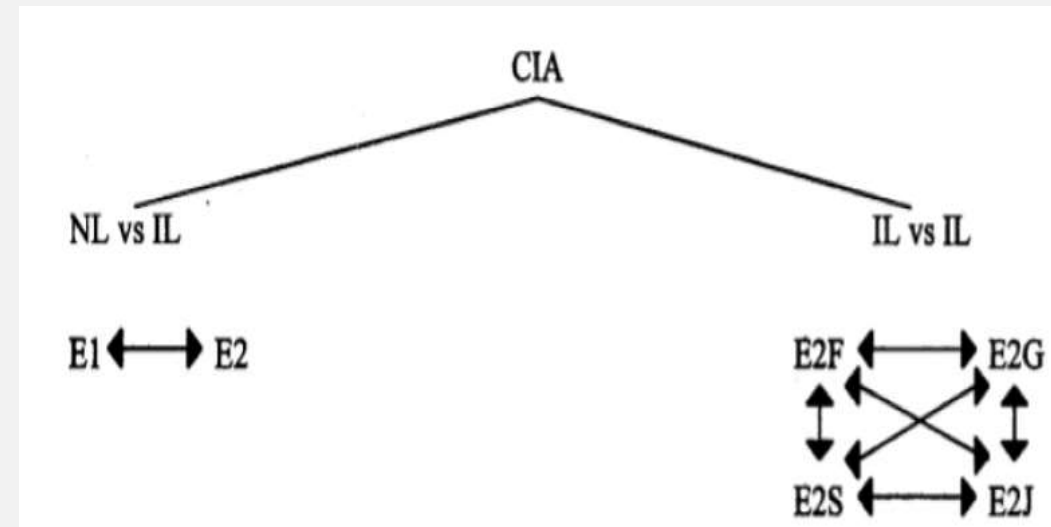
- TUFSS Global COE 「コーパスに基づく言語学教育研究拠点」
- フランス 「現代フランス語の音韻論(Phonology of Contemporary French: PCF)」
- フランス語の学習者言語についての国際プロジェクトとして発足
- 話し言葉コーパス（TUFSSコーパス）と学習者コーパスの構築
- 2コーパスの対照によって音声・韻律特徴，語彙的特徴，談話標識等の差異を調査
- 言語教育への応用を目指す

IPCFの意義と独創性

- フランス語を母語としないフランス語学習者の音声・音韻体系の理解
- 従来の第二言語学習者コーパスは語彙論や形態統語論に焦点
→ 音韻論的観点からの研究は遅れがみられていた
- PCFのツールとプロトコルを利用・応用し，異なる地域の学習者言語データが対照できるようにした
- 2017年現在，16の言語についてプロジェクトが進んでおり，対照研究が可能

対照中間言語分析(CIA)におけるIPCFの位置づけ

- 対照中間言語分析(Contrastive Interlanguage Analysis) (Granger, 1996)
 - ① 母語話者データと学習者データ
 - ② (特に母語の異なる)複数の学習者データ
- 各国のIPCFプロジェクトは単独だと①
- 複数の成果を対照することで②



Contrastive interlanguage analysis (Granger, 1996:44)

学習者データの対照に関する類型論的関心

- 目標言語と母語の類型論的な近さが中間言語にどう影響するか
- 類型論的に距離のある2言語を母語とする学習者について、
 類型論的に近い目標言語を学習する場合と
 遠い目標言語を学習する場合で、
音体系，語彙，文法項目や談話標識の習得にいかなる共通点・差異があるか
- 以上のような類型論的視点を明確に打ち出した先行研究はほぼない

フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析

日本人学習者

類型論的に距離がある

- フランス語
- ポルトガル語



中間言語を対照

類型論的に近い

- トルコ語

※各中間言語は、母語話者による話し言葉コーパスとも対照する

フランス人学習者

類型論的に距離がある

- 日本語
- トルコ語

類型論的に近い

- ポルトガル語

分析項目と調査プロトコル

- 各データ間の対照を可能にするべく、一貫した分析項目リストと調査プロトコルを作成
- IPCFプロジェクトをモデルに、各言語の調査分担者が整備
- 調査項目（タスク形式）
 - ①音韻対立を勘案した単語リスト
 - ②各言語の学習者に特有と思われる音韻の入った単語リスト
 - ③様々な音韻・形態現象を含む読み上げテキスト
 - ④インタビュータスク
 - ⑤学習者同士の自由会話
 - ⑥学習者によるテーマ作文

調査手順

- 年齢，学習歴，家庭での言語環境等に関する社会言語学的アンケート
- ①～④は調査者が同席のもと録音
- ⑤の自由会話タスクは調査者が離席のうえ，被験者のみで録音
会話のテーマは調査用紙に記載したテーマ案から選ぶか、被験者の話しやすいテーマを自由に設定してもらう
- ⑥調査用紙に記入，30分間
IPCJでは，漢字にふりがなを付すことを求めた
- 音声データは録音後に転写を行う

①音韻対立を勘案した単語リスト

IPCJ

2. Reading task

1. ^{てんき}天気 2. ^{よじ}四時 3. ^{いしや}医者 4. チーズ 5. ^{せんばい}先輩 6. ^{かた}硬い 7. ^{きこう}気候
8. ^す好き 9. ^{ひる}昼 10. ^{じらい}地雷 11. ^{きん}金メダル 12. すっぱい 13. おばさん
14. トランク 15. ^{ひやく}百 16. ^{いしや}石屋 17. ^{はち}八 18. ^{ますい}麻酔 19. ^{さか}坂 20. ^{せんばい}千倍 21.
^{きごう}記号 22. ^{ゆうじょう}友情 23. ^{ふそく}不足 24. スパイ 25. スキー 26. ラッパ 27. ^き聞く

②各言語の学習者に特有と思われる音韻の 入った単語リスト

IPCF-Japanese

1	vase	17	parade	33	l'arabe
2	aigle	18	panse	34	Inde
3	tic	19	ou	35	houle
4	teinte	20	once	36	le glas
5	sic	21	moule	37	hors
6	rat	22	les pas	38	la foule

③ 様々な音韻・形態現象を含む読み上げテキスト

IPCP-Japanese

以下は EU が決定した 2011 年のポルトガルの漁獲枠に関する新聞記事です。タラなどの品目の漁獲枠が拡大した一方、アジやエビなどの漁獲枠が減少したため、不安の声が上がっています。

Portugal pode pescar mais bacalhau e menos carapau

A chave de repartição das quotas de pescado definida ontem para os países da União Europeia, em relação a 2011, beneficia Portugal em algumas espécies, como a pescada, mas prejudica noutras, como o lagostim. O certo é que o consumo não pára de subir.

Após dois dias de negociações em Bruxelas, Portugal conseguiu aumentar as

④ インタビュータスク

Guided conversation task

IPCJ-French

Niveau B2-C1

1. 年齢はいくつですか、国籍はどこですか？
2. 何語を話すことができますか？
3. 日本語を学び始めたのはいつですか？
4. どこで日本語を学び始めましたか？

⑤ 学習者同士の自由会話

4. Free conversation task

IPCT-French

1. A movie you've seen.
2. A book you've read.
3. A place you've visited (country, town, museum...)
4. An aspect of your country (dish, custom, lifestyle, celebration...)

Note : For free conversation task, there is no compulsory theme.

⑥ 学生によるテーマ作文

IPCT-French

5. Composition task

Yazma testi (30 dakika)

Aşağıdaki soruyu Türkçe yanıtlayınız ve kültürel veya sosyal farklılıkları açıklayınız.

Soru:

Daha önce Türkçe (veya başka diller) konuşulan bir yerde yaşadınız mı? Eğer yaşadıysanız, dikkatinizi çeken en önemli kültürel veya sosyal farklılıklar nelerdi?

データの分析

- 母語と中間言語 / 中間言語と中間言語
- 音声と作文タスクの転写データ
- コーパス言語学の手法による分析を行う
 - e.g. 頻度調査, N-gram・コロケーション分析, 統計的分析など
- 音声データはPraat等によって分析

言語教育への応用

- 対照中間言語分析プロジェクトは、学習者言語の情報を教師・学習者の双方に提供し、それを通じて対象となる各言語の教育に貢献することを目指す
- 学習者言語概説，学習者言語の特徴記述，DVDによる代表例提示
- 学習者言語の特徴を加味した課題・練習問題例

参考文献

- Boersma, P. and D. Weenink (2018). Praat: doing phonetics by computer [Computer program]. Version 6.0.43, Retrieved 12 October 2018 from <http://www.praat.org/>
- Detey, S. et Y. Kawaguchi (2008). *Interphonologie du Français Contemporain (IPFC): récolte automatisée des données et apprenants japonais*. Presentation at Colloque PFC: variation, interfaces, cognition, MSH Paris. Retrieved 30 October 2018 from http://www.tufts.ac.jp/ts/personal/ykawa/art/PFC2008_12_detey_kawaguchi.pdf
- Detey, S. and I. Racine (2015). The InterPhonology of Contemporary French (IPFC): An international corpus-based L2 phonology research programme. In J. Trouvain, F. Zimmerer, M. Gósy and A. Bonneau (Eds.), *Book of extended abstracts – Satellite Workshop of ICPH2015 on Phonetic Learner Corpora*, 1-4.
- Detey, S. and I. Racine (2017). Towards a perceptually-assessed corpus of non-native French: the InterPhonology of Contemporary French (IPFC) project illustrated with a longitudinal study of Japanese learners' /b-v/ production. *International Journal of Learner Corpus Research*, 3(2), 223-249.
- Detey, S., I. Racine, Y. Kawaguchi et J. Eychenne (Eds.) (2017). *La prononciation du français dans le monde*. Paris: CLE International.
- Eychenne, J. et B. Laks (2012). Le programme Phonologie du français contemporain : bilan et perspectives. *Revue française de linguistique appliquée*, 17(1), 7-24. <https://www.cairn.info/revue-francaise-de-linguistique-appliquee-2012-1-page-7.htm>.
- Granger, S. (1996). From CA to CIA and back: An integrated contrastive approach to computerized bilingual and learner corpora. In K. Aijmer, B. Altenberg, M. Johansson (Eds.), *Languages in Contrast. Papers from a Symposium on Text-Based Cross-Linguistic Studies, Lund 4-5 March 1994*. Lund, Sweden: Lund University Press, 37-51.
- Granger, S. (Ed.) (1998). *Learner English on Computer*. London: Addison Wesley Longman (船城道雄・望月通子監訳(2008)『英語学習者コーパス入門—SLAとコーパス言語学の出会い—』東京: 研究社).
- Granger, S. (2015). Contrastive interlanguage analysis: A reappraisal. *International Journal of Learner Corpus Research*, 1(1), 7-24.
- 川口裕司・松澤水戸・杉山香織・近藤野里・ドゥテ・シルヴァン (2012) 「現代フランス語の中間言語音韻論—IPFC-japonais プロジェクター」『コーパスに基づく言語学教育研究報告9』, 東京外国語大学大学院総合国際学研究所, 35-69.
- 近藤野里, 川口裕司 (2009) 「IPFCと中間言語としての現代フランス語研究」『ふらんぼー』 34, 51-67.
- FLORAL-PFC – Base de données sur le français oral contemporain dans l'espace francophone. Retrieved 12 October 2018 from <http://www.projet-pfc.net/>

謝辞

本研究は、JSPS科研費16H03442「フランス語、ポルトガル語、日本語、トルコ語の対照中間言語分析」、基盤研究B, 2016-2019、代表者 川口裕司 の助成を受けたものです。

